



2021年3月期
第1四半期決算説明資料

2020年8月4日

ダイキン工業株式会社

第1四半期決算概要

新型コロナウイルスの影響により世界的に景気が大きく減速するなか、地域・事業・商品ごとに需要の回復状況を見極めながら事業活動を継続。オンラインツールを活用した営業活動の強化、生産の早期回復による製品の供給確保、固定費削減の徹底など、守りと攻めの両面の施策の推進により、実行計画を上回る業績を達成。空調事業は、換気・空気質への関心の高まりを捉えた商品を拡販。化学事業は、半導体市場の回復遅れや自動車市場の需要減速の影響を受けたが、テレワークの普及に伴うタブレット向けや医療用防護服向けの販売が拡大。

(億円)	1Q実績(4-6月)		
	2019年度	2020年度	前年度比
売上高	6,813	5,817	85%
営業利益 (利益率)	896 (13.2%)	545 (9.4%)	61%
経常利益 (利益率)	898 (13.2%)	551 (9.5%)	61%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率)	631 (9.3%)	331 (5.7%)	52%

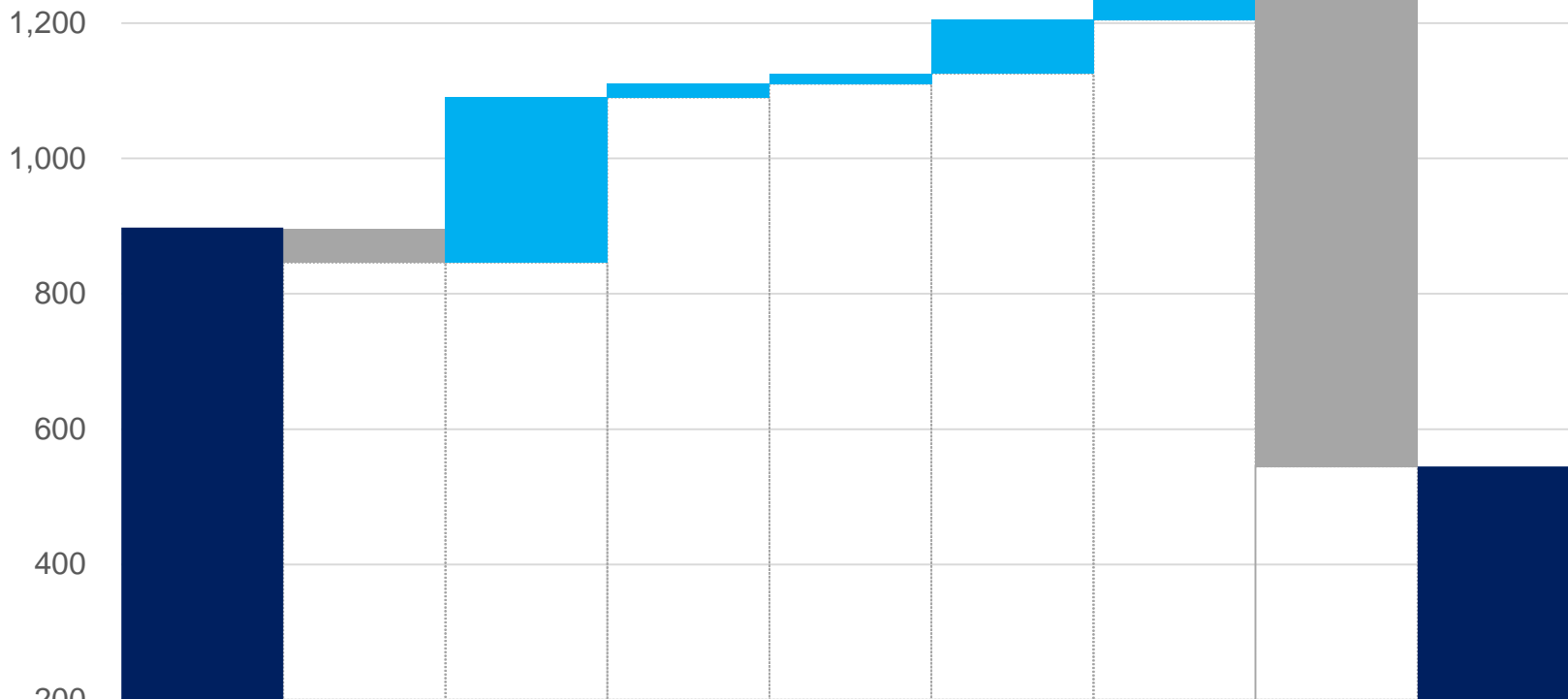
USドル／円	¥110	¥108
ユーロ／円	¥123	¥118
中国元／円	¥16.1	¥15.2

○為替影響(対前年度)
 売上高 ▲225億円
 営業利益 ▲50億円

(億円)		1Q実績(4-6月)		
		2019年度	2020年度	前年度比
全社	売上高	6,813	5,817	85%
	営業利益 (利益率)	896 (13.2%)	545 (9.4%)	61%
空調	売上高	6,253	5,367	86%
	営業利益 (利益率)	825 (13.2%)	516 (9.6%)	63%
化学	売上高	443	356	80%
	営業利益 (利益率)	63 (14.2%)	27 (7.5%)	42%
その他	売上高	118	94	80%
	営業利益 (利益率)	8 (7.0%)	2 (2.6%)	30%

営業利益増減分析 -1Qの対前年度比

(億円)



	2019年度 実績	為替	拡販	売価	原材料	コストダウン	固定費ほか	新型 コロナウイルス	2020年度 実績
計	896	▲50	+244	+20	+15	+80	+45	▲705	545
空調	825	▲47	+236	+20	+15	+75	+45	▲653	516
化学	63	▲3	+8	—	—	+5	—	▲46	27
その他	8	—	—	—	—	—	—	▲6	2

- ✓ 各事業・各地域の新型コロナウイルスによる影響と今後の需要見通しをもち、実行計画を見直し、年間営業利益1,700億円(5月発表の実行計画1,500億円)とする。
- ✓ 空調需要は、上期は、特に住宅用で、巣ごもり需要や各国政府の補助金、好天もあり、5月公表計画の前提を上回る見通し。下期は、米州・インドで感染拡大が続いていることや、グローバルで業務用の受注回復が遅れていることから、5月公表計画の前提より厳しくなる見通し。
- ✓ 空気質・換気ニーズの取込みなど「攻めの施策」を強化するとともに、固定費削減など「守りの施策」を引き続き徹底。需要動向や市場変化に応じて二の手、三の手を打っていく。これらを順次、実行計画に反映させ、さらに高い業績をめざす。

(億円)	2020年度計画							
	5月公表				8月公表			
	上期	前年度比	年間	前年度比	上期	前年度比	年間	前年度比
売上高	10,700	79%	23,300	91%	11,800	87%	23,500	92%
営業利益 (利益率)	400 (3.7%)	24%	1,500 (6.4%)	56%	1,000 (8.5%)	59%	1,700 (7.2%)	64%
経常利益 (利益率)	400 (3.7%)	24%	1,500 (6.4%)	56%	1,000 (8.5%)	59%	1,700 (7.2%)	63%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率)	230 (2.1%)	19%	1,000 (4.3%)	59%	630 (5.3%)	53%	1,140 (4.9%)	67%

USドル/円

¥108

¥108

ユーロ/円

¥120

¥120

中国元/円

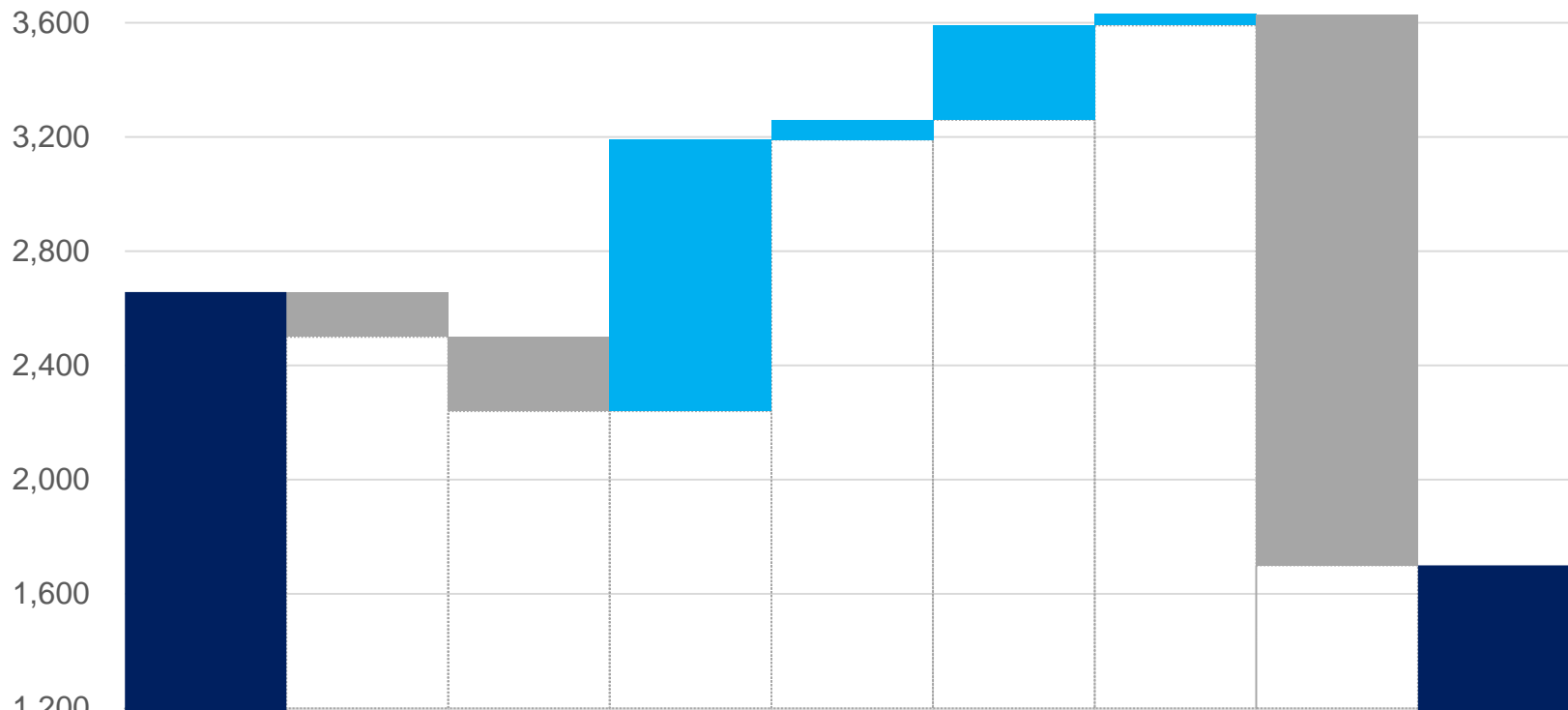
¥15.7

¥15.7

(億円)		2020年度計画			
		5月公表	前年度比	8月公表	前年度比
全社	売上高	23,300	91%	23,500	92%
	営業利益 (利益率)	1,500 (6.4%)	56%	1,700 (7.2%)	64%
空調	売上高	21,310	92%	21,400	93%
	営業利益 (利益率)	1,460 (6.9%)	62%	1,610 (7.5%)	68%
化学	売上高	1,540	86%	1,600	89%
	営業利益 (利益率)	40 (2.6%)	17%	70 (4.4%)	29%
その他	売上高	450	73%	500	82%
	営業利益 (利益率)	0 (-%)	-	20 (4.0%)	36%

営業利益増減分析 -年間計画の対前年度比

(億円)



	2019年度実績	為替	固定費ほか	拡販	売価	コストダウン	原材料	新型コロナウイルス	2020年度計画
計	2,655	▲155	▲260	+950	+70	+330	+40	▲1,930	1,700
空調	2,362	▲152	▲240	+883	+70	+307	+40	▲1,660	1,610
化学	238	▲3	▲20	+60	—	+20	—	▲225	70
その他	55	—	—	+6	—	+3	—	▲45	20
5月公表	2,655	▲125	▲330	+690	+70	+330	+40	▲1,830	1,500

地域別売上高の推移-空調事業

※冷凍・冷蔵機事業、フィルタ事業含む

※パーセンテージは前年度比

(億円)	2016年度1Q		2017年度1Q		2018年度1Q		2019年度1Q		2020年度1Q		2020年度計画			
											5月公表		8月公表	
日本	104%	989	106%	1,051	108%	1,136	112%	1,274	91%	1,163	95%	4,700	95%	4,700
ヨーロッパ	121%	698	103%	717	122%	874	107%	938	93%	874	97%	3,700	97%	3,700
中国	89%	918	115%	1,057	110%	1,167	96%	1,124	79%	891	100%	3,050	100%	3,050
米州	97%	1,337	115%	1,540	110%	1,690	107%	1,807	92%	1,661	89%	6,300	92%	6,500
アジア	109%	714	100%	711	109%	775	107%	828	64%	532	85%	2,500	78%	2,300
オセアニア	117%	120	122%	147	125%	183	92%	169	97%	163	75%	550	87%	640
中近東	102%	122	94%	115	92%	106	91%	97	75%	72	92%	440	92%	440
アフリカ	75%	16	103%	17	116%	19	82%	16	71%	11	84%	70	84%	70
計	102%	4,915	109%	5,354	111%	5,951	105%	6,253	86%	5,367	92%	21,310	93%	21,400
海外売上高比	80%		80%		81%		80%		78%		78%		78%	
USD/円	¥108		¥111		¥109		¥110		¥108		¥108		¥108	
ユーロ/円	¥122		¥122		¥130		¥123		¥118		¥120		¥120	
中国元/円	¥16.5		¥16.2		¥17.1		¥16.1		¥15.2		¥15.7		¥15.7	

地域別売上高の推移-化学事業

※パーセンテージは前年度比

(億円)	2016年度1Q		2017年度1Q		2018年度1Q		2019年度1Q		2020年度1Q		2020年度計画			
											5月公表		8月公表	
日本	97%	90	119%	107	115%	123	103%	126	71%	90	81%	405	84%	420
米州	84%	83	129%	107	106%	113	95%	108	71%	77	88%	390	88%	390
中国	108%	80	110%	88	111%	98	90%	88	105%	93	89%	300	104%	350
アジア	90%	36	140%	50	123%	61	87%	53	88%	47	86%	220	88%	225
ヨーロッパ	106%	59	100%	59	171%	102	63%	64	76%	48	90%	225	84%	210
その他	133%	2	132%	3	152%	4	81%	3	40%	1	—	—	39%	5
計	97%	350	118%	414	121%	501	88%	443	80%	356	86%	1,540	89%	1,600
海外売上高比		74%		74%		75%		71%		75%		74%		73%
USD/円		¥108		¥111		¥109		¥110		¥108		¥108		¥108
ユーロ/円		¥122		¥122		¥130		¥123		¥118		¥120		¥120
中国元/円		¥16.5		¥16.2		¥17.1		¥16.1		¥15.2		¥15.7		¥15.7

日本

住宅用の業界需要は、新型コロナウイルスのマイナス影響を受けたが、5月以降は巣ごもり需要や特別定額給付金の効果もあり、前年度並みとなった。当社は、『うるさらX』の換気機能を訴求した販売を強化。在室時間の増加による省エネ性への関心、空気質ニーズの高まりを捉え、シェアを拡大。空気清浄機の販売も好調に推移。

業務用の業界需要は、学校空調の特需の反動に加え、設備投資の鈍化もあり、前年度を下回った。当社は、需要の変化に対応した提案営業の強化により、シェアを拡大。オンラインツールの活用などによる営業・販売活動を継続するとともに、全熱交換器など換気商材の販売を強化。アプライドは、R32機への置換を進め、収益性が改善。

〈製品別販売状況(台数ベース)〉

(前年度比)		1Q 実績
住宅用	業界	100%
	当社	104%
業務用	業界	75%
	当社	82%
アプライド	業界	87%
	当社	78%
空気清浄機	業界	148%
	当社	179%

※アプライドは売上高ベース

米州

雇用・所得環境の悪化などにより個人消費が低迷し、需要が減速。地域全体の売上高は前年度を下回った。感染症拡大防止のためグッドマン工場を一時閉鎖したが、オンラインツールの活用を推進し、最大限の販売確保に努めた。

- 住宅用ユニタリーは、オンラインツールを活用したディーラーへの技術サポートやeコマースでの販売を推進。外出規制による居住空間の環境改善ニーズの高まりや、好天による需要回復を捉えた。
- ダクトレスは、RA/SKYで、居住空間の環境改善のニーズを取り込み販売を拡大。VRVは、店舗やレストランでのプロジェクトの延期・中止による需要低迷の影響で、販売は前年度を下回った。
- アプライドは、感染症対策の徹底、サプライヤの複線化などにより、工場の操業を継続。新型コロナウイルスの影響が顕在化する以前の受注を出荷へと繋げ、販売が伸長。

〈製品別販売状況(台数ベース)〉

(前年度比)		1Q実績
住宅用ユニタリー		93%
ダクトレス	RA/SKY	107%
	VRV	72%
アプライド		107%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・業務用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

中国

生産活動は通常に戻ったが、販売活動で新型コロナウイルスの影響を受け、売上高は前年度を下回った。

4月から中国全土で市場が順次再開。当社は、地域・市場の回復状況を見極め、いち早く販売資源を投入。また、オンラインでの販売活動を強化し、6月単月では前年度並みの売上高を確保。原材料市況の軟化効果の取込み、固定費削減やコストダウンの推進により、高収益維持に努めた。

- 住宅用市場では、中高級住宅向けに加え、一般住宅向けの商品ラインアップを拡充。住宅用マルチエアコンの販売回復に努めた。販売活動が制限されるなか、オンラインイベント・ライブ放送の開催による新規顧客の探索や、オンライン販売の強化に注力。また、大手ディベロッパーとの協業を推進し、物件向けの販売を推進した。
- 業務用市場では、関心が高まる洗浄・除菌・換気を切り口とした営業活動を推進。住宅用全熱交換器や空気浄化システムなどIAQ関連商品の品揃えを強化し、空気に関するソリューション提案に取り組んだ。
- アプライド市場では、データセンター向けなど、デジタル化の加速により需要が拡大する分野での提案営業を推進。

〈市場別販売状況(現地通貨売上高ベース)〉

(前年度比)	1Q 実績
住宅用※	82%
業務用	78%
アプライド	91%

※住宅用マルチエアコン含む

欧州・中近東・アフリカ

欧州は、ロックダウンが段階的に解除されているものの、景気は低迷しており、売上高は前年度を下回った。中近東では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う原油価格の下落や通貨安の影響を受けた。

- 住宅用は、5月以降、外出制限が緩和されたことに加え、スペインなどで天候に恵まれたこともあり、需要は回復傾向。当社は、最寄化生産による安定した製品供給によりシェアを拡大。
- 業務用は、ロックダウン期間中もオンラインでの営業活動を継続。全熱交換器など換気商材の販売を強化したが、ホテル・店舗の営業停止やオフィス需要の鈍化の影響を受けた。
- 暖房事業は、新築住宅の工事再開や、ドイツ・オランダでのヒートポンプ式温水暖房機器への置換を推進するインセンティブなどによる需要の獲得に努めた。

〈製品別販売状況(台数ベース)〉

(前年度比)		1Q 実績
住宅用		97%
業務用	SKY	82%
	VRV	77%
暖房		94%
アプライド		79%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・業務用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

アジア・オセアニア

独自の販売店ルートやオンラインツールを活用した販売活動に注力したが、インドをはじめとした各国での活動制限措置の影響が大きく、売上高は前年度を下回った。

- 住宅用は、各国で家電量販店が閉鎖されるなか、独自の販売店ルートでの販売を促進。5月以降、需要が回復基調にあるベトナム・マレーシアなどで販売拡大に注力。インドでも、ロックダウンが延長されるなか、オンラインツールを活用した販売活動に努めた。
- 業務用は、各国でのロックダウンによる工期遅れや工事の延期などの影響により、販売が減少。
- アプライドは、保守・メンテナンスなどサービス事業に注力。

■ 売上高上位国の前年度比(現地通貨ベース)
 オーストラリア:108% ベトナム:71% タイ:88%
 マレーシア:72% インド:37% インドネシア:84%

〈製品別販売状況(台数ベース)〉

(前年度比)		1Q 実績
住宅用		70%
業務用	SKY	67%
	VRV	61%
アプライド		92%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・業務用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

半導体市場の回復遅れや自動車市場の需要減速に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売上高は前年度を下回った。

- フルオロカーボンガスは、空調需要の減少により、特に欧州で販売が大きく落ち込み、売上高は前年度を大きく下回った。
- 樹脂・ゴム
 - ーフッ素樹脂は、半導体市場の回復遅れの影響や、米国でのLANケーブル向け、航空機関連向けの需要減少により、販売が減少。
 - ーフッ素ゴムは、日本・欧米・アジアでの自動車市場の需要減少の影響を大きく受けた。
- 化成品は、表面防汚コーティング剤で、テレワークの拡大によるタブレット向けの需要増加を取り込み、拡販。撥水撥油剤は、アパレル向けなどの需要が落ち込んだが、医療防護服向けに販売が伸長。

〈製品別販売状況(売上高ベース)〉

(前年度比)	1Q 実績
全フッ素化学品	80%
ガス	45%
樹脂・ゴム	78%
化成品ほか	103%

事業体質の抜本改革に向け、安定した供給体制の構築、トータルコストダウン、高付加価値商品の営業力強化に取り組んだ。

- エアフィルタは、高性能フィルタや陰圧機など感染症対策商材の販売に注力。販売活動の制限や市場低迷の影響で、欧州や日本で販売が減少したが、主力の米国で、病院向けや政府案件での提案営業の強化に加え、住宅用の需要増加の取り込みにより、販売を伸ばした。
- P&I※では、厳しい需要環境が続くなか、アフターサービス事業の拡大を中心に事業体質の改善に努めたが、定期修繕の延期などにより販売が減少。

※P&I・・・ガスタービン、大規模プラント等の業務用集塵システム

(億円)	2019年度		2020年度	
	1Q実績	年間実績	1Q実績	年間計画
設備投資	238	1,320	314	1,300
減価償却費	225	978	250	1,000
研究開発費	161	680	158	700



予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。